

国際保健学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Shuko Takahashi, Yuki Yonekura, Ryohei Sasaki, Yukari Yokoyama, Kozo Tanno, Kiyomi Sakata, Akira Ogawa, Seichiro Kobayashi, and Taro Yamamoto. Weight gain in survivors living in temporary housing in the tsunami-stricken area during the recovery phase following the Great East Japan Earthquake and Tsunami. *PLoS ONE*. 2016; 11(12): e0166817. (IF: 3.057)
2. Nakano M, Yahiro K, Yamasaki E, Kurazono H, Akada J, Yamaoka Y, Niidome T, Hatakeyama M, Suzuki H, Yamamoto T, Moss J, Isomoto H, Hirayama T: *Helicobacter pylori* VacA, acting through receptor protein tyrosine phosphatase α , is crucial for CagA phosphorylation in human duodenum carcinoma cell line AZ-521. *Dis Model Mech* . 2016; 9 (12): 1473-1481. (IF: 4.316)
3. Hiromu Ito, Yuki Katsumata, Eisuke Hasegawa, Jin Yoshimura. What is true halving in the payoff matrix of game theory? *PLoS ONE*. 2016. 11: e0159670. (IF= 3.057)
4. Katsura Igai, Manabu Itakura, Suguru Nishijima, Hirohito Tsurumaru, Wataru Suda, Takumi Tsutaya, Eriko Tomitsuka, Kiyoshi Tadokoro, Jun Baba, Shingo Odani, Kazumi Natsuhara, Ayako Morita, Minoru Yoneda, Andrew Greenhill, Paul Horwood, Jun-ichi Inoue, Moriya Ohkuma, Yuichi Hongoh, Taro Yamamoto, Peter Siba, Masahira Hattori, Kiwamu Minamisawa, and Masahiro Umezaki. Nitrogen fixation and nifH diversity in human gut microbiota. *Scientific Reports*. 2016; 6: 31942. (IF=5.228)
5. Yokoyama K, Kubo K, Yoshida S, Wada T, Kawai T, Nishikomori R, Yoshida A. Tumor in chest wall caused by *Mycobacterium bovis* BCG infection. *Pediatr Int*. 2016; 58(4): 317–318. (IF= 0.868)

A-b

1. Global Health Committee of the Japan Medical Association. The Challenges of Japanese Community Medicine from the Global Health Perspective. *JAMJ*. 2016: Vol.59 No.2&3 September: 59–76.

A-c

1. Nakano M, Hirayama T, Moss J, Yahiro K: *Helicobacter pylori* VacA exhibits pleiotropic actions in host cells. In *Helicobacter pylori*, Part II (Edited by Suzuki H, Warren R, and Marshall B; Springer Japan, Tokyo), pp. 49-66, 2016.

A-e

1. Shiomi Yoshida, Kazunari Tsuyuguchi, Lisa Nonaka, Masayuki Imajoh, Tokuma Yanai, Aki Tamaru, Chie Nakajima, Yasuhiko Suzuki, Takayuki Wada, Taro Yamamoto. *Mycobacterium pseudoshottsii* isolated from farmed fish in South-Western Japan. *Proceedings The 9th International Meeting of ASCM*: 42, 2016.
2. Takayuki Wada, Shiomi Yoshida, Tsubasa Araki, Tomotada Iwamoto, Taro Yamamoto, Tokuma Yanai. Genotypic characterization of *Mycobacterium avium* subsp. *hominissuis* isolated from cattle with pulmonary infection. *Proceedings The 9th International Meeting of ASCM*: 43, 2016.

B 邦文

B-e

1. 鄭冬明, 坂瑛里香, 池崎沙耶加, 中台枝里, 和田崇之, 輪島丈明, 濱端崇, 堀口安彦, 西川禎一. Complete DNA sequence of the ETEC O169:H41 virulence plasmid and the novel colonization factor. 第89回日本細菌学会総会プログラム集: 85, 2016.
2. 和田崇之, 丸山史人, 岩本朋忠, 山本太郎, 山本三郎, 中川一路, 大原直也. 次世代シーケンサーを用いた BCG Tokyo172 のシードロットおよび市販ロットにおけるヘテロ変異検出. 第89回日本細菌学会総会プログラム集: 88, 2016.
3. 八尋錦之助, 中野政之, 平山壽哉, 野田公俊: ピロリ菌の空胞化毒素 VacA の Cx43 の細胞内蓄積は陰イオンチャネル活性と Rac1 が関与する. 第89回日本細菌学会総会プログラム集: 70, 2016.
4. 和田崇之, 吉田志緒美, 露口一成, 山本太郎. 播種性病態を引き起こした新世界ザル由来 *Mycobacterium kansasii* 株の遺伝子解析及び病原性評価. *感染症学雑誌*. Vol. 90 (臨時増刊号): 50, 2016.
5. 岩本朋忠, 有川健太郎, 村瀬良朗, 横山真一, 南谷千絵, 和田崇之, 藤山理世. 結核菌全ゲノム解析を活用した「M株-神戸市分離株」の感染・伝搬様式の推定. *感染症学雑誌*. Vol.90 (臨時増刊号): 175, 2016.
6. 吉田志緒美, 東桃代, 露口一成, 鈴木克洋, 井上義一, 和田崇之, 山本太郎, 林清二. 滅菌水供給装置の汚染が原因と考えられた *Mycobacterium chimaera* の疑似アウトブレイク. *結核*. 91(3): 175, 2016.
7. 瀬戸順次, 鈴木裕, 和田崇之, 阿彦忠之. 結核菌反復配列多型分析結果と遺伝系統情報の組み合わせによる新たな分子疫学情報の提供. *結核*. 91(3): 178, 2016.
8. 和田崇之, 岩本朋忠, 前田伸司, 山本太郎, 山本三郎, 大原直也. 次世代シーケンサーを用いた BCG Tokyo 172 の

シードロットおよび市販ロットにおける ヘテロ変異検出. 結核. 91(3): 179, 2016.

9. 山本香織、和田崇之、小向潤、長谷篤、松本健二、下内昭、山本太郎. 大阪市あいりん地域における結核菌伝播状況解析 (2006~2014). 結核. 91(3): 179, 2016.
10. 八尋錦之助、赤澤祐子、中野政之、鈴木秀和: ピロリ菌の空胞化毒素 VacA による Connexin 43 細胞内蓄積を介した細胞死誘導. 第 22 回日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集: 121, 2016.
11. 中野政之、八尋錦之助: 宿主細胞受容体 RPTPα を介した VacA の機能発現. 第 22 回日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集: 122, 2016.
12. 赤司太郎、松島加代子、神田努、中野政之、神谷真子、赤澤祐子、大仁田賢、竹島史直、中尾一彦、浦野泰照、磯本一: *H. pylori* 感染診断における γ -グルタミルトランスペプチダーゼ活性を検出する蛍光プローブの有用性の検討. 第 22 回日本ヘリコバクター学会学術集会プログラム・抄録集: 47, 2016.
13. 勝又雄基、上原隆司、一ノ瀬元喜、伊東啓、吉村仁、泰中啓一. 格子気体モデルによるアユの最適放流方策. 第 15 回情報科学技術フォーラム講演論文集 1: 131-134, 2016.
14. 和田崇之、山本香織、山本太郎、阿彦忠之. 結核患者情報は菌株の遺伝多型 (VNTR 型別) 解析に基づく感染源推定に影響を与えるか? 日本公衆衛生雑誌. 63(10): 300, 2016.
15. 山本香織、和田崇之、小向潤、松本健二、下内昭、山本太郎. 大阪市内の 40 歳未満結核患者から分離された結核菌株の分子疫学解析. 日本公衆衛生雑誌. 63(10): 559, 2016.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	6	2	0	16

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
山本太郎・教授	審査委員	科学技術振興機構
山本太郎・教授	運営委員	京都大学地域研究総合情報センター
山本太郎・教授	研究事業運営委員	結核研究所
山本太郎・教授	エイズ・感染症対策技術専門員・選考委員	国際協力機構 青年海外協力隊事務局
山本太郎・教授	館外研究員	国立民族学博物館
山本太郎・教授	客員研究員	東京大学医学教育国際協力センター
山本太郎・教授	国際保健検討委員会委員	日本医師会
山本太郎・教授	客員教授	大連医科大学
山本太郎・教授	客員教授	福建医科大学
山本太郎・教授	非常勤講師	大阪市立大学
山本太郎・教授	非常勤講師	新潟大学
山本太郎・教授	武見フェロー選考委員	日本医師会
山本太郎・教授	国際緊急援助隊感染症対策チーム公衆衛生部会部会長	国際協力機構
山本太郎・教授	長崎県環境保健研究センター倫理審査委員会委員	長崎県環境保健研究センター
和田崇之・助教	客員研究員	結核研究所
和田崇之・助教	Board	Asian Society of Conservation Medicine
和田崇之・助教	幹事	日本結核病学会 実験結核研究会
中野政之・助教	評議員	日本細菌学会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
和田崇之・助教	日本学術振興会	代表	基盤（B） アジア・オセアニアにおける病原性抗酸菌の浸淫度調査
和田崇之・助教	日本学術振興会	分担	基盤（C） 高まん延多剤耐性結核菌株のゲノム解析
和田崇之・助教	日本医療研究開発機構	分担	結核の診断及び治療の強化等に関する革新的な手法の開発に関する研究
和田崇之・助教	感染症研究国際展開戦略プログラム	分担	ベトナムにおける感染症制御研究・開発プロジェクト
和田崇之・助教	人獣共通感染症研究拠点・共同研究	代表	動物感染症例においてゲノム非可塑性を示す抗酸菌種の遺伝的多様性とその応用
和田崇之・助教	かなえ医薬振興財団	代表	野生動物から分離される大腸菌の腸管付着因子はいかにして宿主適応しているのか
市川智生・助教	日本学術振興会	代表	若手（B） 人獣共通感染症としての日本の結核史—歴史学および分子疫学による検証—
市川智生・助教	日本学術振興会	分担	基盤（B） 日米医学協力計画（1965-90年）と JICA によるフィリピンへの医療援助
市川智生・助教	日本学術振興会	分担	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 医学史の現代的意義：感染症対策の歴史化と医学史研究の社会との対話の構築
市川智生・助教	かなえ医薬振興財団	代表	中国およびネパールの寒冷高地における生活習慣病に関する疫学的研究
中野政之・助教	日本学術振興会	代表	基盤（C） ピロリ菌 VacA の宿主受容体を基盤とした病原メカニズムの解析
中野政之・助教	武田科学振興財団	代表	ピロリ菌が産生する VacA と CagA の宿主細胞における新たな相互作用の解析

特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
和田崇之・助教	結核菌の型別法	2010.4.14	-	特開 2011-217703
中野政之・助教	紫外線殺菌装置	2005.6.29	2011.7.1	04771402 号

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
和田崇之・助教	長崎県結核担当者会議		2016年 7月8日	現在結核分子疫学体制を模索している長崎県保健所、地方衛生研究所の職員を対象として、基礎的な話題提供および利用の指針について解説を行った。

和田崇之・助教	平成 28 年度地域保健総合推進事業「結核菌 V N T R 技術研修会」		2016 年 11 月 2 日	地方衛生研究所職員を対象に、結核菌遺伝多型解析の手法と考え方について講演を行った。
和田崇之・助教	第 1 回抗酸菌研究会の開催と研究コミュニティの形成に向けた取り組み		2016 年 9 月 29, 30 日	国内の結核・抗酸菌研究者を対象とした研究会を世話人として開催し、現在も次年度以降の継続的な研究活動の基盤構築に寄与している。

○特筆すべき事項

- ① 山本太郎 教授 日本経済新聞「今を読み解く」に「失われてゆく、我々の内なる細菌」が紹介される 2016 年 1 月 24 日
- ② 山本太郎 教授 TBS「今年の細菌・ウイルス大疑問」-時代劇で学ぶ免疫の仕組み-コーナーを監修 2016 年 1 月 27 日
- ③ 山本太郎 教授 JICA 国際緊急援助隊感染症対策チーム 第一回導入研修「安全管理（感染症対策）」講義 2016 年 2 月 20 日
- ④ 山本太郎 教授 講談社 現代ビジネスウェブサイト【賢者の知恵】でジカウイルス感染症について解説 2016 年 3 月 2 日
- ⑤ 山本太郎 教授 第 19 回日本臨床緊急医学会総会・学術集会 招待講演「市民講座 国際交流と災害-感染症対応-未来志向としての国際保健-」2016 年 5 月 14 日
- ⑥ 山本太郎 教授 新潟大学非常勤講義「公衆衛生の転換」2016 年 5 月 13 日
- ⑦ 山本太郎 教授 日本リザルツ講演会「微生物と非感染疫病」2016 年 6 月 25 日
- ⑧ 山本太郎 教授 2016 年度前期東洋学講座 医学・衛生的中国事情「公衆衛生の転換-人は一人では生きていけない-」2016 年 7 月 22 日
- ⑨ 山本太郎 教授 中野区医師会講演会「公衆衛生の転換-人は一人では生きていけない-」2016 年 10 月 13 日
- ⑩ 山本太郎 教授 一般財団法人 国際開発機構 FASID2016 年度国際開発入門コース講義「感染症と開発の関係からヒト社会のあり方を考える」2016 年 11 月 12 日
- ⑪ 山本太郎 教授 順天堂大学医学研究入門Ⅱ講義「生態学的視点から見た感染症：感染症とは何か」2016 年 11 月 24 日
- ⑫ 和田崇之 助教 長崎大学 Tenure Track Newsletter Vol.03 に記事掲載
- ⑬ 和田崇之 助教 熱帯医学研究所を訪問した明善高校 1 年生に講義
- ⑭ 市川智生 助教 熱帯医学研究所を訪問した長崎東中学、佐世保北中学、向陽高校の学生に講義
- ⑮ 中野政之 助教 上原 H.pylori 賞（優秀賞）受賞（第 20 回日本ヘリコバクター学会学術集会：2016 年 6 月 24-26 日）